広報

しょうぼう上球磨

No. 104

令和８年10月



＜ もくじ ＞

熊本地震への応援出動・・・・・・・・・・・・2
九州地区消防救助技術指導会出場・・・・・・・2
消防用水供給に関する協定締結・・・・・・・・3
甲種防火管理新規講習会開催・・・・・・・・・3
しごと説明会を開催・・・・・・・・・・・・・4
スマートフォン自動通報（衝撃検知）・・・・5
仮設あさぎり分署運用開始【表紙写真】・・・6
相談ダイヤル案内　＃７１１９・・・・・・・6

火災・救急・救助は１１９番

令和８年７月２８日　熊本地震発生

令和８年熊本地震への応援出動ー被災地へ消防の力をー

令和8年7月28日に発生した熊本地震に伴い、九州内外から緊急消防援助隊や熊本県内応援隊が被災地へ派遣されました。

当組合からは7月28日から8月6日にかけて、八代市で救急活動に従事し、被災された方々への救急対応や現地での活動支援を行いました。また、８月６日に発生した宇城市の火災に出動し、他の消防機関と連携しながら被災地の安全確保に努めました。

今後も大規模災害に備え、関係機関との連携を強化するとともに、地域の皆さまの生命と安全を守るため、消防・救急体制の充実に努めてまいります。



▲ 竹やぶへの消火活動



▲ 県内応援隊として派遣された職員



▲ 県内各消防本部の緊急車両

第54回九州地区消防救助技術指導会出場

令和8年7月10日㈮熊本県消防学校において「第54回九州地区消防救助技術指導会」が開催されました。

本大会は、九州各県から選抜された全36本部・263名の消防隊員が集い、ロープブリッジ救出、引揚救助、障害突破などの救助技術を披露。複雑多様化する災害に対応するための技術力や安全管理能力、訓練で得た教訓を日々の消防活動に反映させることを目的として開催されています。

当組合からも以下の２種目に隊員が出場し、日頃の訓練の成果を発揮しました。惜しくも両種目とも全国大会には届きませんでしたが、訓練を通じて培った救助技術と安全管理意識は、今後の地域防災・救助活動へ生かしてまいります。ご声援をいただき、誠にありがとうございました。



▲ 大会に出場した職員

ロープブリッジ救出

中　礼　大　志	消防士
赤　池　宏　斗	消防士
幸　野　成　彬	消防士長
前　田　悠　汰	消防士

引　揚　救　助

湯　山　倫　樹	消防士長
福　本　雄　太	消防士長
猪　口　大二郎	消防士長
宮　原　秀　喜	消防士長
森　山　　凛	消防士

大規模災害時等における消防用水の供給支援に関する協定を締結

令和８年９月11日、人吉球磨地区生コンクリート協同組合と災害時における消防用水の確保を目的として「大規模災害時等における消防用水の供給支援に関する協定」を締結しました。林野火災や大規模火災等の災害が発生した際には、既存の消防水利や消防車両だけでは十分な消防用水を確保できない場合があります。

今回の協定では、このような場合に、人吉球磨地区生コンクリート協同組合の協力を得て、組合各社が保有するコンクリートミキサー車を活用し、消防用水を災害現場へ搬送・供給することで、消防活動に必要な消防用水の確保を図ります。

今後も関係機関との連携を深め、訓練等を通じて実効性を高めながら、災害に強く、安全・安心な地域づくりを進めていきます。



▲ 写真　左から　上球磨消防組合　池末消防長、中嶽組合長
人吉球磨地区生コンクリート協同組合　地下理事長、味岡専務理事

甲種防火管理新規講習会の開催

８月５日・６日の２日間、当組合にて「甲種防火管理新規講習会」を開催しました。

この講習会は、一定規模以上の建物（以下「防火対象物」という。）において、管理・監督的な立場にあり、防火管理を適切に行うことができる「防火管理者」を養成することを目的としています。

防火管理者は、火災の予防や消防用設備等の点検・維持管理、消防計画の作成を行うほか、消防計画に基づく避難訓練を実施し、職員への周知・指導を行います。

本講習会では、防火管理者として必要な知識や実務を身につけるための講習を行っています。



▲ 修了証の交付を受ける受講者

本講習会は、昭和50年から実施され51年間の総数で1301名が修了されており、それぞれの防火対象物において、「防火管理者」として重要な役割を担われています。

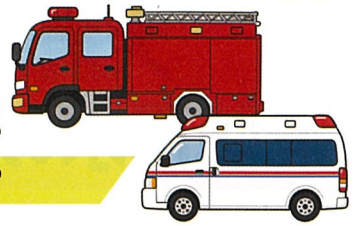
今後は、対面での講習を終了し、オンライン講習を行う予定です。



▲ 受講者34名。防火管理講習会の様子

未来の消防士を目指して！

「しごと説明会」を 開催







▲ 救急車や消防車両の見学・説明の様子。資機材や車両の役割について、職員が丁寧に説明しました。

説明会の内容

- 消防の業務紹介・採用までの流れ
- 職員との座談会
- 車両見学・業務体験（救急・火災・救助）
- 質疑応答・アンケート記入　など



▲ 現役消防職員との座談会では仕事内容や採用試験、やりがいなどについて活発な質問が寄せられました。

2日間で5名が参加！

当組合では、８月１日・２日の２日間にわたり「しごと説明会」を開催しました。説明会には計５名の参加があり、消防の仕事や採用までの流れについて紹介したほか、現役消防職員との座談会を実施しました。

参加者からは仕事のやりがいや勤務のことなど、多くの質問が寄せられました。また、救急車や消防車両の見学、各種業務体験も行い、消防の仕事をより身近に感じていただく機会となりました。

今後も地域の皆さまに消防への理解を深めていただけるよう、さまざまな機会を設けてまいります。



▲ 心肺蘇生法や防火衣の着装体験、救助器具の操作体験など様々な業務を体験していただきました。

スマートフォンの自動通報（衝撃検知）について

iPhoneやAppleWatch、GooglePixelには、強い衝撃や大きな事故・転倒などを検知すると自動で１１９番へ発信する機能があり、機種によっては購入時から有効となっている場合があります。

このような場合でも１１９番につながることがあります（例）

- スマートフォンやスマートウォッチを高い場所から落としたとき
- 激しく転倒したが、けががなかったとき
- スポーツやレジャーで強い衝撃を受けたとき
- 遊園地の絶叫マシンなどで強い加速度がかかったとき
- 交通事故ではない強い衝撃を機器が検知したとき

iPhone　説明

自動で１１９番につながったら　皆様のご協力をお願いします

消防車や救急車が必要ない場合は、電話を切らずに**「間違いです」「救急車（消防車）は必要ありません」**と通信指令員へお伝えください。電話を切ってしまうと、事故や急病で話せない状況なのか判断できないため、消防指令センターから折り返し電話をしたり、位置情報をもとに消防車や救急車を出動させたりする場合があります。

消防指令センターからの折り返し電話に必ず応答し、状況をお知らせください。



関連記事：スマートフォンの緊急通報機能について

iPhoneやAndroidスマートフォンには、緊急時に１１９番通報できる機能があります。便利な機能ですが、ロック時でもバッグやポケットの中で本人が気付かないうちに誤って操作され、１１９番へ発信がされることがあります。消防指令センターでは、１１９番通報の内容を確認するため必ず折り返し電話をしますので、緊急でない場合も応答し状況をお伝えください。

折り返しで連絡が取れない場合は、緊急事態として判断し救急車や消防車を出動させることがあります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



お問い合わせ　人吉球磨消防指令センター　TEL:0966-42-9119

仮設あさぎり分署の運用開始！







令和８年10月１日（土・日・祝祭日含む）から、あさぎり町役場第二庁舎内に常駐し、日中の災害出動に備える出動隊の運用を開始しました。あさぎり町の西側では、消防署から10分以上かかる地域もあることから、現場到着時間の短縮により救命率の向上が期待されます。

仮設あさぎり分署運用の概要

- 運用時間　概ね　9時00分～16時50分（土・日・祝祭日含む）
- 運用車両　救急車　1台　ポンプ車　1台
- 配置人員　5名（救急救命士含む）

ご協力のお願い

- 緊急出動の際は、十分にご注意ください。
- ご近所にお住まいの方は、サイレン音等でご迷惑をおかけしますが、ご理解をよろしくお願いいたします。

※夜間は従来どおり上球磨消防署から出動します。

問い合わせ先　上球磨消防組合消防本部　総務課　TEL：0966-42-3191

相談ダイヤル案内

- 救急車を呼ぶべきか、病院を受診すべきかを迷ったときは、熊本県救急安心センター（#7119）に相談してください。
- 緊急時は迷わず119番通報をしてください。消防指令センターで内容を聴取し、直近の消防署から緊急車両を出動させます。

